



三和油化工業株式会社

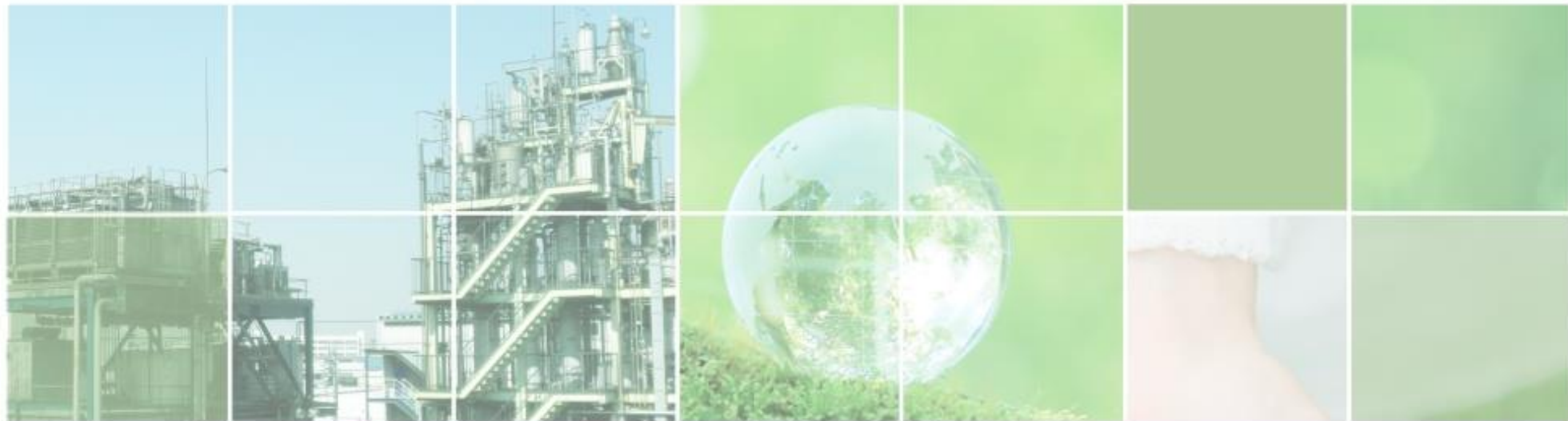
東証スタンダード市場／名証メイン市場

証券コード：4125

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月9日





2025年3月期 第1四半期 決算概要



2025年3月期 第1四半期

売上高	営業利益	営業利益率
<p>3,905百万円</p> <p>【前年同期比】△4.5%</p>	<p>217百万円</p> <p>【前年同期比】△47.4%</p>	<p>5.6%</p> <p>【前年同期比】△4.5PT</p>

事業環境

- 円安、ウクライナ情勢の長期化及び中東情勢の緊迫化の継続により、エネルギー価格は高止まり
- 国内は経済活動の正常化が進み、日経平均は最高値を更新、半導体業界の稼働も回復しつつある

内部対応

- 半導体・電池・電子部品業界向け製品供給、廃棄物の再資源化及びエンジニアリング事業に注力
- 半導体・電池業界向け設備の稼働準備、九州地地区の需要増加に対応するため子会社設立

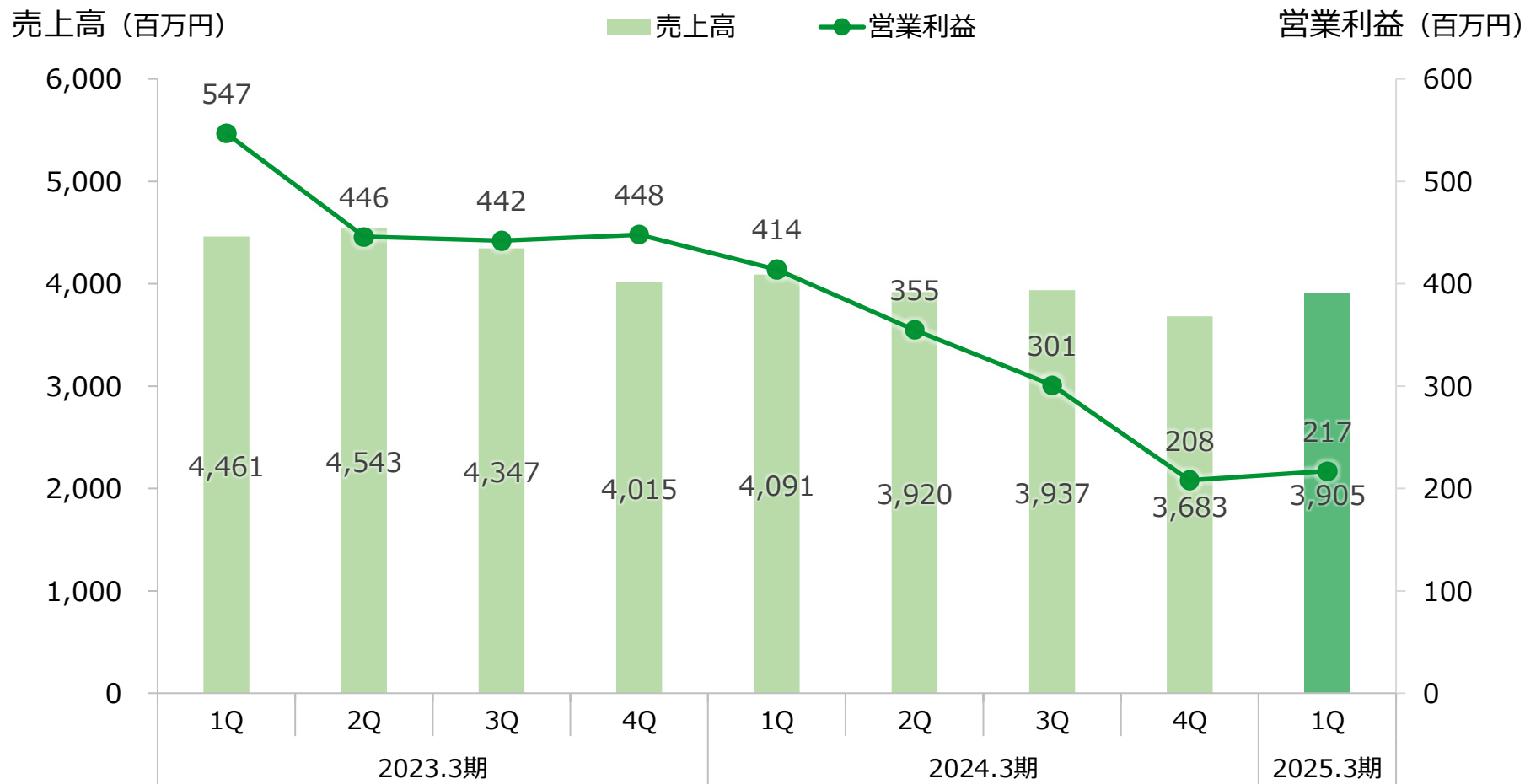
⇒ **半導体向け製品販売は回復しつつあるものの、電池業界向け製品販売は不振**
将来の需要増加に対応するためのコスト負担も重く減収減益

- ガス代の単価上昇等によるエネルギーコスト増加により粗利率が低下
- 東京支店移転、情報システム刷新等による管理費コスト増加により営業利益率が低下

(単位：百万円)	2024年3月期 1Q		2025年3月期 1Q		前年同期比	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	増減額	前期比
売上高	4,091	100.0%	3,905	100.0%	△185	△4.5%
売上総利益	1,232	30.1%	1,117	28.6%	△114	△9.3%
営業利益	414	10.1%	217	5.6%	△196	△47.4%
経常利益	423	10.3%	264	6.8%	△158	△37.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	266	6.5%	151	3.9%	△114	△42.9%

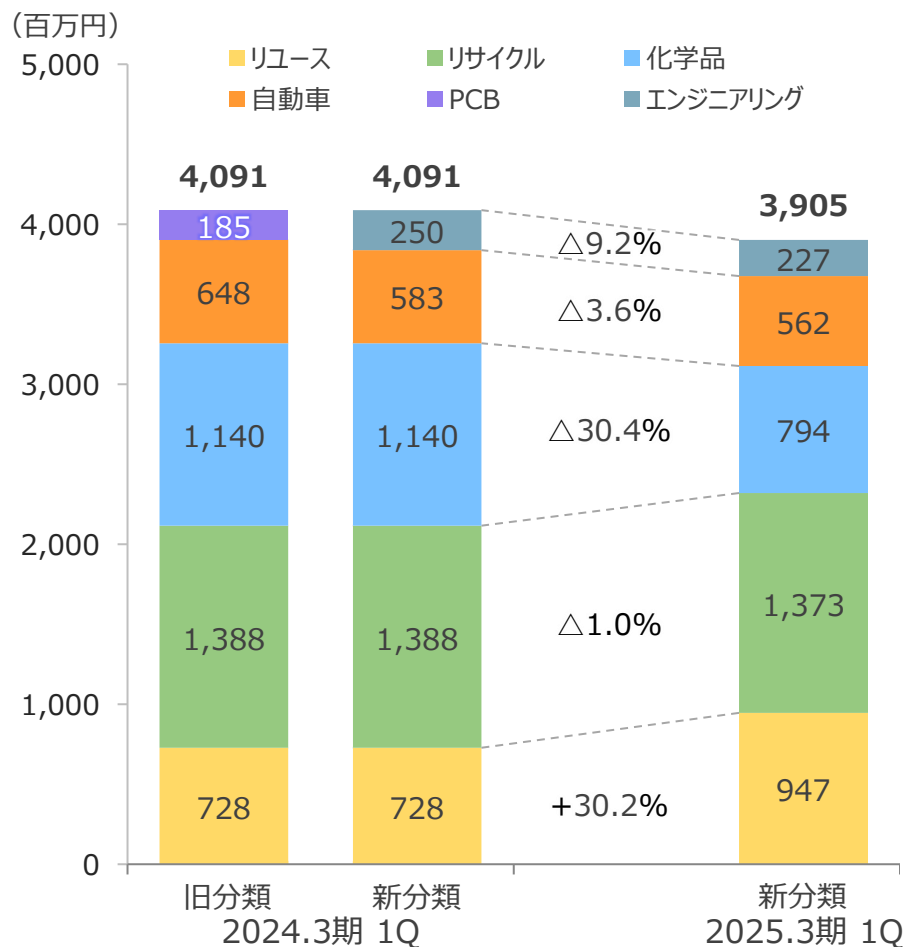
※2024年3月期には、政策保有株式の一部を縮減したことによる特別利益として、投資有価証券売却益（150百万円）を含んでおります。

- 将来の需要増加に備えた設備増強・人員増加等の先行投資によるコスト増加
- 子会社サンワ南海リサイクルの大口スポット案件終了による業績不振

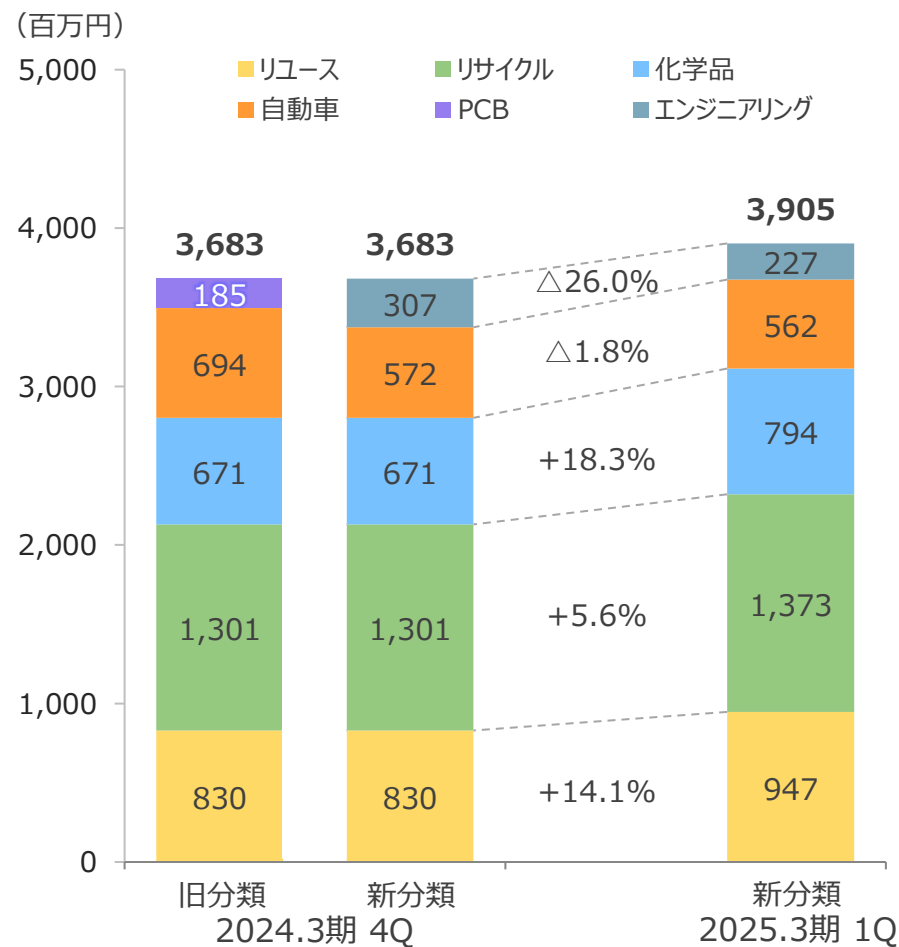


- リユース事業では、原料収集活動の成果がでて溶剤系の再生製品の販売数量が大幅増加
- 化学品事業では、半導体業界の稼働が戻りつつあり、ファインケミカル製品の販売数量が回復

前年同期比 (YoY)



前四半期比 (QoQ)

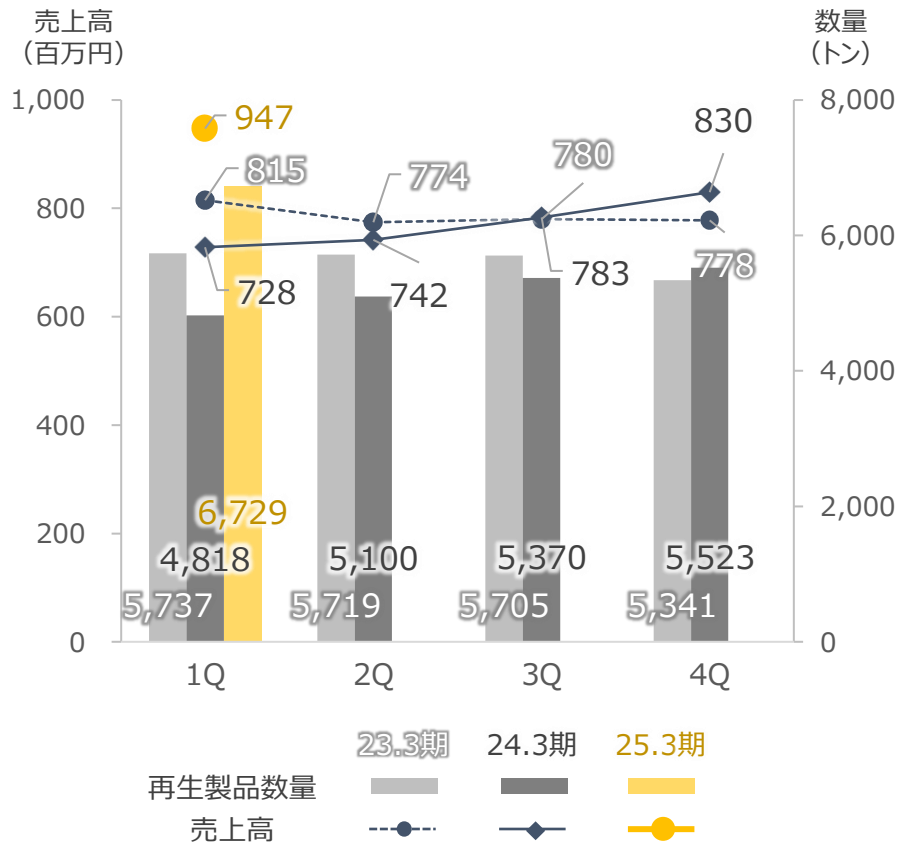




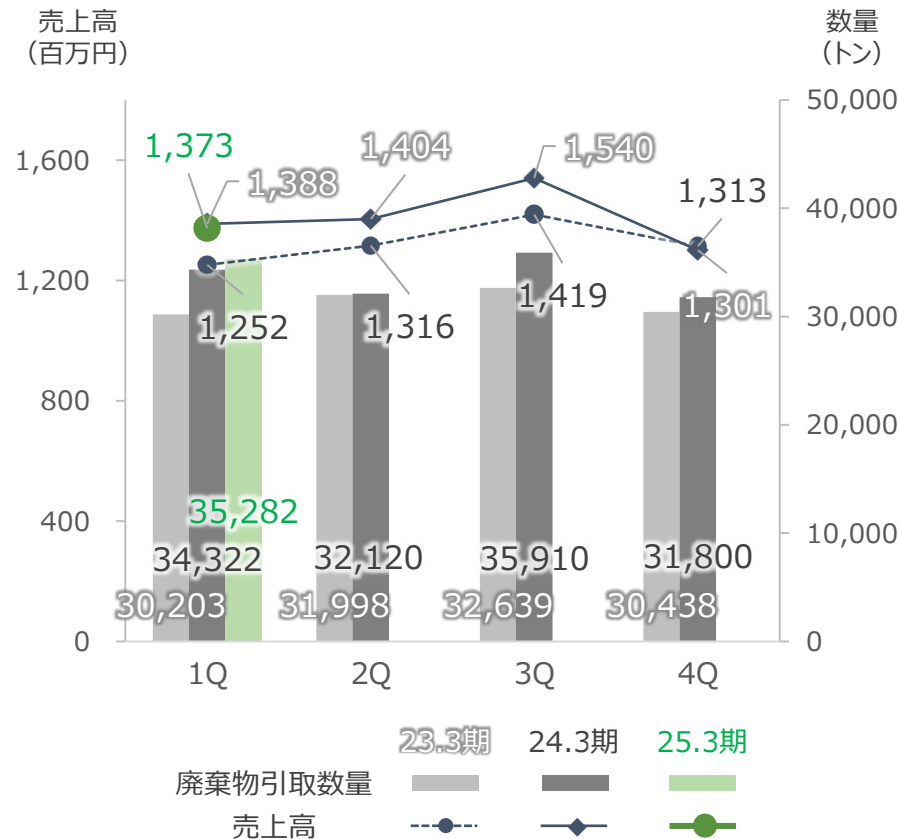
リユース、リサイクル事業（四半期ごとの推移）



リユース事業



リサイクル事業



■ リユース事業売上と再生製品販売数量

- 溶剤系製品はスポット案件以外でも数量が大幅に増加
- 溶剤の外注委託再生の数量も大幅に増加

■ リサイクル事業売上と廃棄物引取数量

- 能登半島地震による引取数量減少は回復し通常通り
- 幅広い業種から廃棄物収集し、リスクを分散

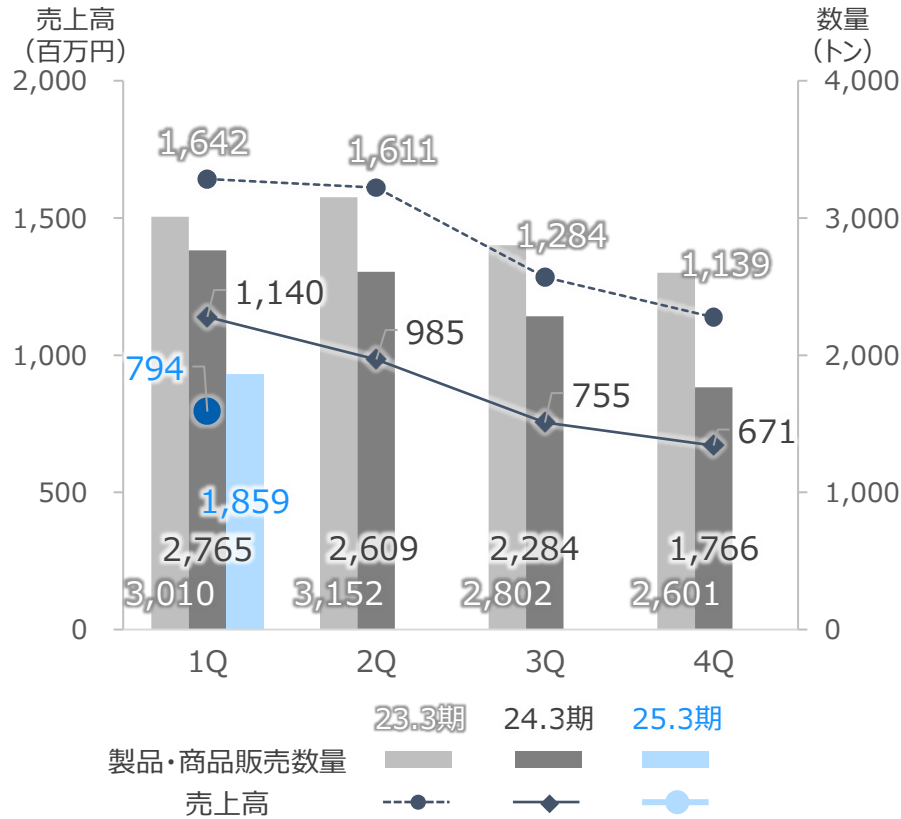
※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております



化学品、自動車事業（四半期ごとの推移）



化学品事業



※ 製品：当社グループが品質保証する製造品 商品：転売品

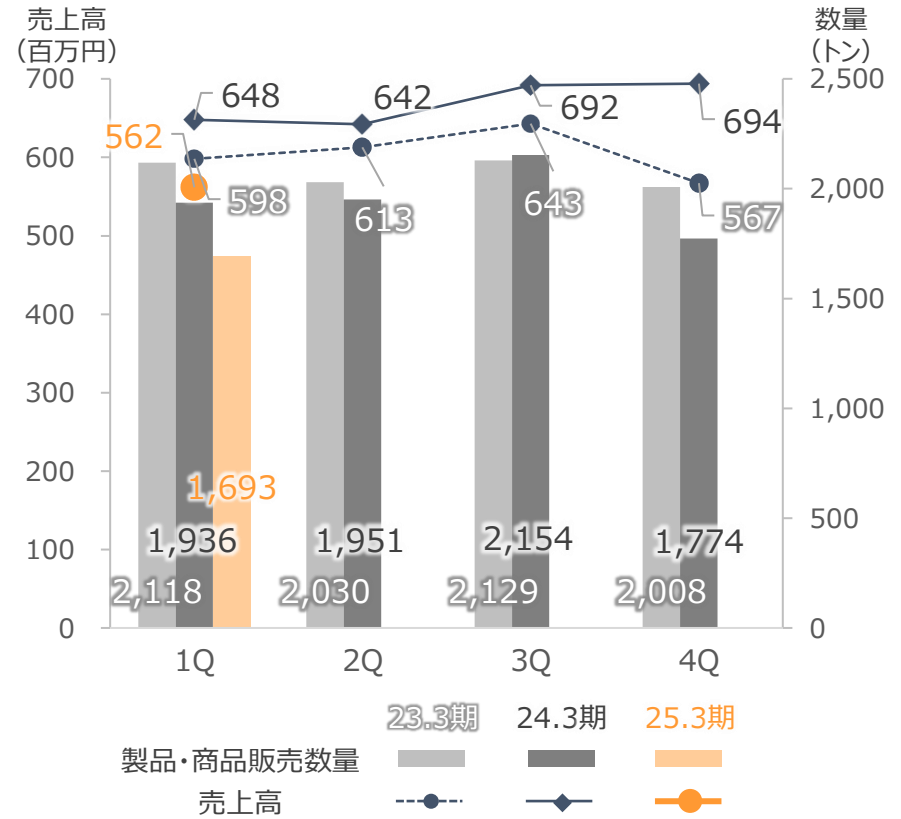
■ 化学品事業売上と製品・商品販売数量

- 半導体関連の**ファインケミカル製品の販売は回復傾向**
- 茨城の**電池関連設備は稼働再開**、増設分は品質確認中



自動車事業

※ 25.3期より自動車事業の解体・作業代の売上をエンジニアリング事業の売上に区分変更しております



■ 自動車事業売上と製品・商品販売数量

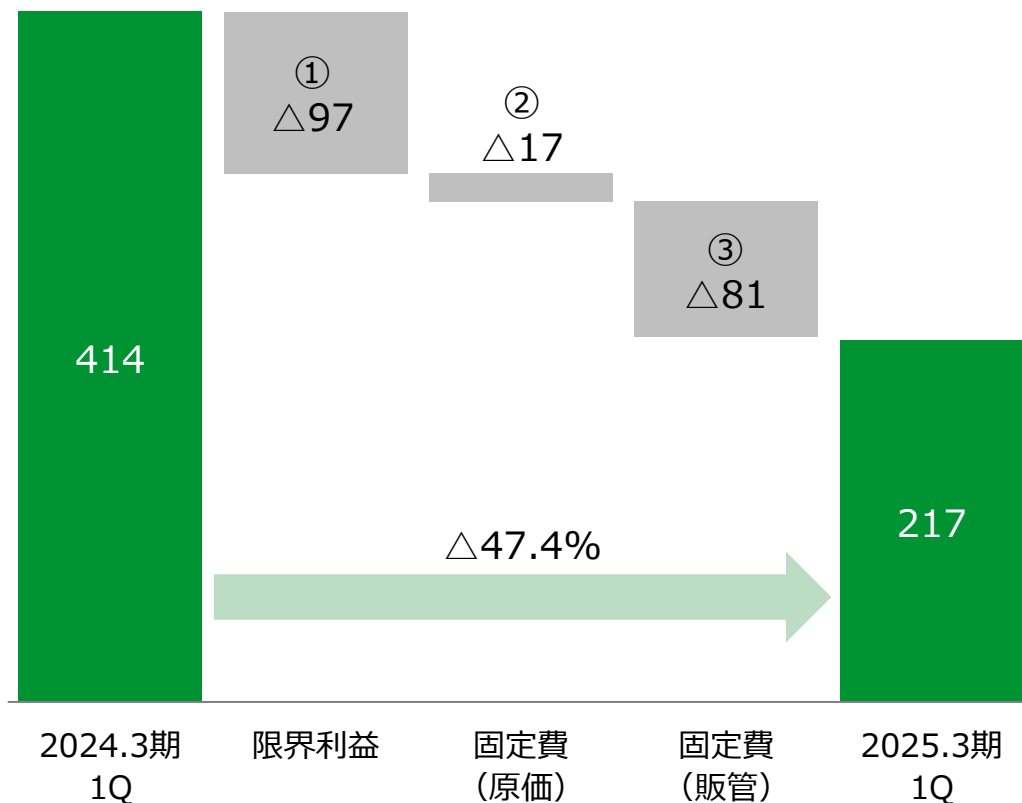
- 主要顧客の生産調整等により**油剤商品の販売数量が減少**
- 自動車業界の不正影響は限定的も、**販売数量は減少**

※ グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております

営業利益増減要因分析（前年同期比）

- 化学品事業の売上が大きく減少、電池向け製品の需要回復遅れによる数量減少
- 東京支店の移転費用、人員増、DX投資等、**未来への投資は継続して実施**

(百万円)



① 限界利益

売上高

〈+〉【RU】再生溶剤の販売数量は大幅増加

〈+〉【RC】取扱数量は微増

〈-〉【化】電池向け製品の需要戻らず

売上原価 (変動費)

〈-〉【RU】再生品原料の有価物の単価上昇

〈+〉【RC】取扱数量は増加したが産廃処理費は減少

〈-〉【RC】外注運賃コストの増加

② 固定費 (原価)

〈-〉投資設備の稼働開始による減価償却費増加

〈+〉車両費等の費用圧縮

③ 固定費 (販管)

〈-〉人員増、ベースアップによる人件費増加

〈-〉東京支店の移転費用

〈-〉職場改善費用、DX投資、教育研修費増加

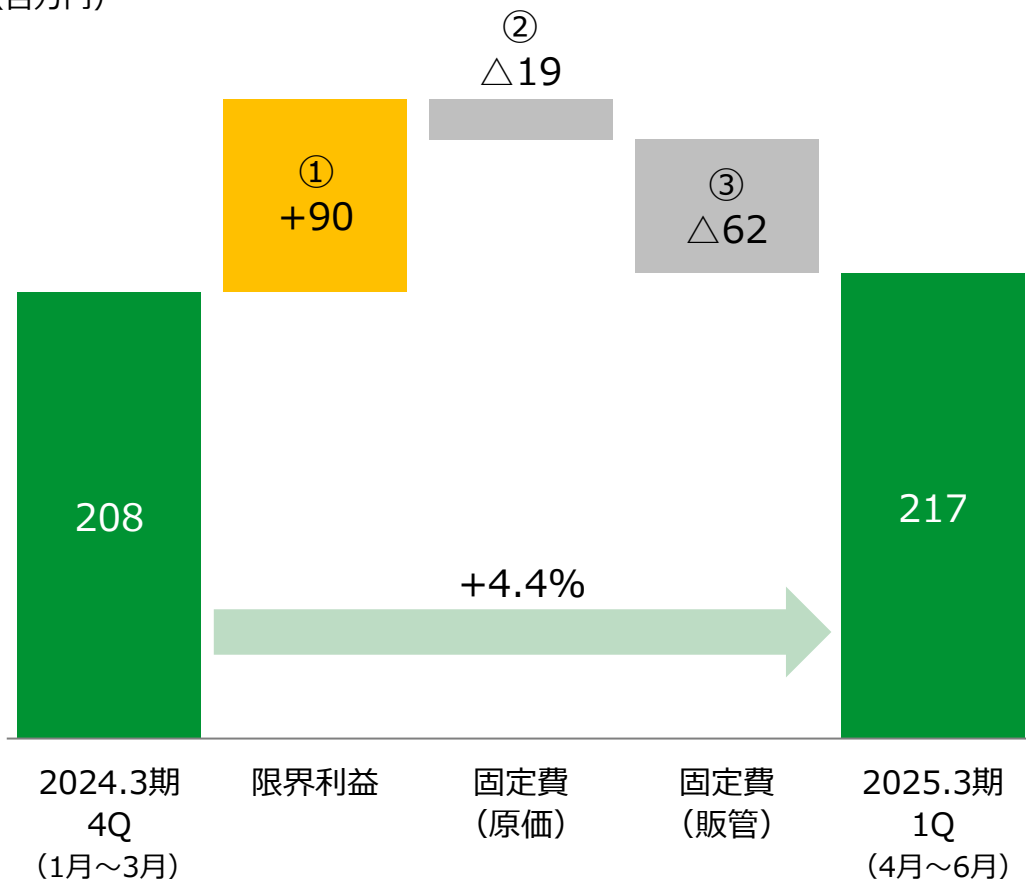
〈+〉利益へプラス要因、〈-〉利益へマイナス要因

【RU】リユース、【RC】リサイクル、【化】化学品

営業利益増減要因分析（前四半期比）

- サンワ南海リサイクルでの付加価値（引取／出荷の価格ギャップ）低下への改善遅れ
- 能登半島地震の影響からは回復したものの、人員増・DX化等の将来投資による負担は大きい

(百万円)



① 限界利益

売上高

- 〈+〉【RU】溶剤・外注委託の数量が増加
- 〈+〉【RC】前Qの地震影響による不振からは回復
- 〈+〉【化】茨城電池向け設備が稼働再開

売上原価（変動費）

- 〈-〉【RU】再生品原料となる有価物の引取単価上昇
- 〈+〉【RC】取扱数量は増加したが産廃処理費は減少
ただし、付加価値改善には課題あり

② 固定費（原価）

- 〈-〉運送子会社労務費の上昇
- 〈+〉修繕費・車両費の減少

③ 固定費（販管）

- 〈-〉人件費・DX関連費用など将来投資費用の増加
- 〈+〉消耗品費、修繕費、交際費等の圧縮

〈+〉利益へプラス要因、〈-〉利益へマイナス要因

【RU】リユース、【RC】リサイクル、【化】化学品

貸借対照表

(単位：百万円)	2024年3月期末	2025年3月期 1Q末	前期比 増減額	コメント
流動資産	7,076	5,923	△1,152	設備代金支払により現預金減少
固定資産	14,046	14,634	+587	建設仮勘定が増加
資産合計	21,122	20,557	△564	
流動負債	4,928	4,565	△362	設備代金支払により未払金減少
固定負債	4,114	3,831	△282	長期借入金の返済が進行
負債合計	9,043	8,397	△645	
純資産合計	12,079	12,160	+80	合併会社設立により少数株主持ち分が増加
負債・純資産合計	21,122	20,557	△564	



2025年3月期 業績予想



- 投資した設備が稼働開始することにより、**年度後半に向け売上・利益は拡大する計画**
- 廃棄物の再資源化で付加価値を高めつつ、成長業界向けの活動を強化していく

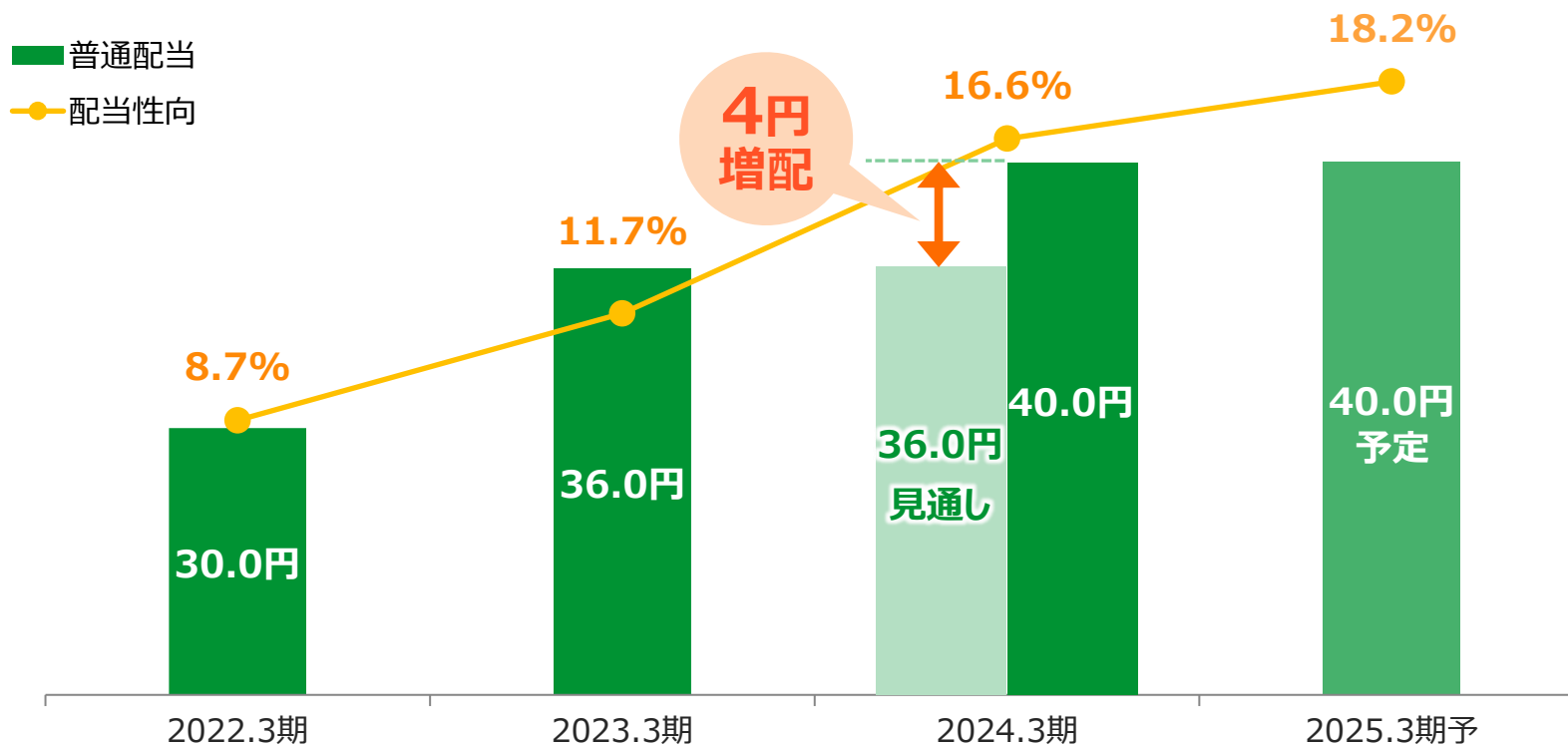
(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期		増減		2025年3月期 1Q	
	実績	売上高比率	予想	売上高比率	増減額	増減比	実績	進捗率
売上高	15,633	100.0%	17,000	100.0%	+1,366	+8.7%	3,905	23.0%
売上総利益	4,627	29.6%					1,117	
営業利益	1,279	8.2%	1,300	7.6%	+20	+1.6%	217	16.8%
経常利益	1,360	8.7%	1,330	7.8%	△30	△2.3%	264	19.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,041	6.7%	950	5.6%	△91	△8.8%	151	16.0%

※2024年3月期には、政策保有株式の一部を縮減したことによる特別利益として、投資有価証券売却益（150百万円）を含んでおります。

配当方針

今後の事業展開及び財務体質の充実等を勘案のうえ、
安定的な配当を継続して実施していきます

1株あたり配当金・配当性向



※2022.3期の1株あたり配当金30円につきましては、普通配当25円のほか記念配当5円を含んでおります。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL 0566-35-3021（経営管理部）

URL <https://sanwayuka.co.jp/>

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。